

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

脳腫瘍に対する術前腫瘍塞栓術の有効性やリスクについての検討
1. 研究の対象および研究対象期間 2016 年 1 月 1 日から 2026 年 12 月 31 日までに昭和医科大学病院で髄膜腫と診断され、手術を受けた患者さん。
2. 研究目的・方法 脳腫瘍の手術前に、腫瘍に血液を送る血管をふさぐ治療（腫瘍塞栓術）が、手術中の出血量や手術時間、合併症発生率にどのような影響を与えるかを患者さんの診療録を用いて調べます。 腫瘍塞栓術によって手術の負担を減らせるか、また合併症などのリスクが増えないかを検討します。これにより、腫瘍塞栓術が適した患者さんをより適切に判断できるようにすることを目的とします。
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2029 年 5 月 31 日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 患者さんの基本情報（性別、年齢、診断名、手術日、入院期間、退院時の状態） 画像検査の結果（頭部 CT 検査、頭部 MRI 検査、血管造影検査） 手術に関する情報（手術記録、手術中の出血量、手術時間、腫瘍の大きさ） 治療後の情報（合併症の有無と内容、治療後の経過）
5. 外部への試料・情報の提供 該当しません。
6. 研究組織 研究責任者 研究機関名 昭和医科大学病院 脳神経外科 氏名 光樂泰信

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学病院 脳神経外科 氏名：光樂 泰信

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 昭和大学 6 号館 3 階 313 号室 電話番号：03-3784-8605